

【委員】 大塚剛志 贅田浩邦 大山美千子 下山千恵子 長美智子 川井信一 北原由香恵(欠席)
川島啓(欠席) 塩沢建樹(校長) 上野健司(地域連携教員)

【地域学校協働推進員】 石崎敦子

【事務局】 稲葉亜希恵(教頭) 五月女穰(教務主任)

1. 任命書の交付・自己紹介

- ・代表として大塚様へ任命書を交付。交付後、参加者による自己紹介。

2. 組織づくり

- ・会長は川井様、副会長は贅田様が選出された。

3. 本年度の学校教育目標と方針についての説明(学校長より)

学校長より学校教育目標と方針案について説明。

ここで承認いただいた学校教育目標と方針を26日に行われるPTA総会で保護者に説明をする。

<学校概要>

- ・今年度全生徒数 442名、教員人数は昨年度と変わらず。本年度は、新規採用教員が2名(男性)。
- ・地域及び生徒の実態として、様々な困難を抱える家庭が増えつつある。各種関係機関と連携して支援していきたい。
- ・不登校傾向、メディア依存傾向の生徒が増えている。市の関係機関やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどと連携をして、子供達の足が学校へ向くように支援していきたい。
- ・読書習慣が身に付いていない生徒が多い。昨年度までの「朝の学習」を「朝の読書」にして活動を始めた。2,3年生は落ち着いて取り組んでいる。1年生は、登校準備などをして取り組めない生徒もいるがおおむね落ち着いて取り組んでいる。年間を通して続けていきたい。

<学校教育目標及び学校経営の方針>

- ・昨年度から変更したところを説明する。
- ・学校教育目標(目指す生徒像)では、「自らの力で粘り強く」を付け加えた。
- ・目指す学校像のスローガン「当たり前のことをこつこつと」は、教職員も生徒も意識して取り組んでいる。
- ・一人一人が自他の大切さを実感できるような雰囲気や環境づくりに努める学校を追記した。
- ・保護者、地域の人達と連携、協力して教育活動を実践することについては、小中一貫教育や部活動の地域移行などもあり、加筆した部分である。
- ・目指す教師像について、特にスローガンである「すべての活動は子どもたちのために」を年度当初の会議において教職員にはお願いした。教育活動を企画する際など、その活動は子どもたちのためになるのかという観点で考えるよう伝えている。
- ・学校経営の方針は、「知・徳・体」を基本に生徒を育成したいと考え作成したもの。「学ぶ力」を育む

ために、「豊かな心」を育むために、「健やかな体」を育むために、に分かれて設定している。「健やか」には、心身の健康が含まれる。

- ・ SNS やティックトックなどいろいろな問題が起きている。スマホ、タブレットをツールとして使えるようにするために全教育活動を通して情報モラルの向上を図れるよう推進していきたい。便利なツールではあるが、人を傷つけたり傷ついたりしないように心の面を鍛えていきたい。
- ・ 全教職員による危機意識、危機管理意識を持つことについても加筆した。昨今問題となっている不審者対応など危機意識を持って対応できるようにしていきたい。

<今年度の努力点>

- ・ 「学び合い」を基本として、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて取り組んでいく。
- ・ 特別支援教育の視点に立った生徒理解の深化。子供一人一人には特性がある。国分寺中学校全職員で、子どもの特性を理解して、子どもが気持ちよく自分の力が出し切れるように支援をしていきたい。
- ・ 情報モラル教育等、規範意識や倫理観の育成。全教育活動を通して善悪の判断力の育成。学校だけでは限界がある。各家庭や地域の方にも協力していただき取り組んでいきたい。保護者との連携では情報モラルに関する講話なども計画している。学校経営方針については以上。
- ・ 教室配置図の説明。
- ・ 年間行事予定の説明。

4. 意見交換

(1) 学校教育目標と方針について

委員長：質問やご意見等あるか。学校教育方針は少しずつ変わっている。

校長：学校として頭を悩ましているのは SNS の問題。市は使わせない方針ではなく使わせ方を指導する方針。学校では、家族以外とは SNS はやらないと年度当初の約束として伝えている。スマホを与えている家族でも意識を高めていかないといけない。

委員：子どもにとって、より身近でリアルな事例などの紹介はできないか。自分ごとになるように。

校長：生徒が特定されない事例については伝えてはいる。先日の集会において、生徒指導主事が「便利である一方、事件に巻き込まれている原因は SNS であることが多い」という話を生徒に伝えた。

委員：学校課題にある『自ら課題を見出し』は難しいが、とてもよい取組だと思う。学校としてのやり方や考え方を教えてほしい。

校長：各教科の見方・考え方を生かして授業を行い、いろいろな見方や考え方を活用して課題を解決していけるようにしたり、学び合いでいろいろな立場の意見を聞いたりしていく。

事務局：人によって課題と感ずることは様々であり、自分の課題を解決するためには、どのように学習していけばよいのかを考えることが必要。そのためには、何ができていて、何ができていないのか、メタ認知、自己理解のようなものも必要になると考えている。

委員：SNS の問題について。スマホがなくて友だち関係が悪くなる場合もある。保護者に対しても SNS に関する教育が必要である。

委員：住まいは緑だが、国分寺地区に来て子どもたちを度々見かける。新一年生がアンダーを自転車で通

っている姿がほほえましい。

(2) 学校教育目標と方針についての承認

委員長：学校教育目標と学校経営の方針について、承認でよろしいか。

委員全員：よい。

(3) その他

推進員：地域学校協働推進委員として。学校運営協議会委員とは、学校を評価するものではなく、みんなで盛り上げていくような応援的な立場である。先ほど学校経営方針の説明の中で、昨年度課題であった「読書」について、さっそく朝の読書で取り入れていくなど、具体的な対応が施されていることがわかった。また、タブレットの活用についてはどのように利用しているのかも知りたい。個人的な疑問として。新聞の日とは何をやっているのか。また、SNS の問題についてなど、困った話はどんどん伝えていくとよいのでは。

事務局：ご質問に対する回答。今年度4月になってからはまだタブレットの持ち帰りは実施していないが、週末などを利用して持ち帰る予定である。部活動は、ほぼコロナ以前に戻っている。食事時に会話を慎むなどの注意点は変わらず。新聞の日については、年5回配布され、活字に慣れるようにしている。活用の仕方については様々。

委員：次回は7月とのことだが、事前に議題が分かっていた方がよい。議題があれば事前にお知らせしていただくと準備ができる。地域の危険場所などお知らせいただくとよいのではないか。

事務局：議題がある場合は、事前に資料送付などを行う。

5. その他（今後の予定）

事務局：学校運営協議会マニュアルについては次回配布する。今年度新しく委員になられた方は、次回、マイナンバー写しを持参、銀行口座番号を書いていただきたい。次回の日時を確認。

この協議会では、様々な立場から、子どもたちの健全な育成のために、何が必要か、できるかなどともに考えていく場にしていきたい。

14時40分 終了